



特定非営利活動法人共同子育て広場おひさま

おひさま通信

VOL. 24
2023年9月9日発行

特定非営利活動法人共同子育て広場おひさま（以下「おひさま」）は、1986年以来活動をすすめてきた「すぎの子共同保育所」の保育実践をベースに新しく地域の子育て支援センターとしての役割を担いたいと2005年6月24日に設立・認証されたNPO法人です。2016年4月からは徳島市の認可を受けた「木のいえ共同保育園」の運営主体として様々な活動をしています。

おひさま通信は、会員や地域の方々を結ぶ機関誌として、おひさまの諸行事の案内や報告、木のいえ共同保育園の子どもたちの様子などを掲載しています。

～お話の世界を楽しみながら～ 地球組の冬の様子

春から毎日、笑って、泣いて、喧嘩して、楽しんでと、表現がとても豊かな子どもたち。そんな子どもたちと日々の活動に向けた話し合いをたくさんしてきました。そのたびに意見のぶつかり合いや喧嘩がよく起こっていました。まだまだ一方的な思いを伝えあうことが多かった地球組ですが、仲間の中だからこそ、相手を気遣ったり思いやったりできるものであると考えました。小さな集団の中で育んでいき、この先の続く未来でもっと大きな集団になったとしても、心地よい居場所、自分で創り上げる楽しい生活、自分でしたい意欲が「いつでも・どこでも・だれとでも」の力に繋がるように、様々な表現で自他ともに認め合っていきたいと思い、共に生活してきました。

2月を超え、「相手は相手、自分は自分」ではなく、相手も自分の同じ生活を作りあげていると考えられるようになりました。仲間だけで作り上げる生活が楽しくなったことが大きく成長した姿です。

そんな子どもたちの姿を紹介します。

2月「ダンブ園長やっつけた」の絵本を題材に劇あそびを楽しみました。この絵本には、自然の中から遊びを見つけ出して遊びこんでいく子どもたちといつも全力で一緒にあそびながら、誰のことも否定せず、見守っているダンブ園長がいます。思い切り遊びこむ事、思い切り楽しむ事が大切で、どの子も、その子そのものをみんなが認める集団であること、仲間の中で成長していく姿に魅力を感じたのだと思います。

地球組の劇のあらすじ…港や工場で沢山の人が働いている、ひがしはまの町。この町の真ん中にわらしこ保育園があります。身体が大きな園長先生はダンブ園長と呼ばれています。年長クラスはクジラ組で10人。クジラ組で一番小さい子はさくらです。すぐ「こわいんだもん」というので、みんなはさくらのことを弱虫だと思っています。神社の石段はすべり台になり、木のツルでお相撲をして遊んでいます。ある日、ダンブ園長と日向山へやってきた子ども達。洞穴を見つけて海賊ごっこを始めます。さくらはお姫様役になりますが、海賊から隠れているお姫様はつまらなくなり、今度は自分から海賊になります。さくらは海賊になりきって、こわかったチャンバラごっこができるようになります。海賊になった子どもたちは海賊ダンブに宝物をかけて挑みます。



5歳児



— 中面へ続く! —

おひさま総会終わる!

2023年5月27日(土)に、特定非営利活動法人共同子育て広場おひさま 第20回通常総会が、48人(委任状を含む)の参加で開催されました。

過去3年間は、コロナによる参加制限で、さみしい総会でしたが、4年ぶりに参加制限のない、対面での開催ができました。

審議事項は、すべて議案通りに可決され、また、木のいえ共同保育園の子ども達の様子も、これまた久しぶりの保育士さんたちによって、紹介されました。

参加されなかった会員さんには、議案⇒決定をお送りします。



2023年度 新しい体制でスタートです。

総会の役員改選で、理事長が、安本 佳代子氏 となりました。

「今、子育ては『しんどい』時代だと思います。これは、子どもたちにとって大問題です。

保育界も教育界も、社会全体が、子どもたちにとって楽しく生き生きできる場所であってほしいし、大人にとっても、子育てが楽しいものであるよう、微力ながら努力していきたいと思います。」

おひさま事務局長が、水口 美恵氏 となりました。

「2005年、2008年、2013年と3人の子どもたちが、木のいえ共同保育園前身、すぎの子共同保育所にお世話になったOB保護者の水口美恵です。卒園してから随分と月日が過ぎましたが、縁あって今年度『NPO法人共同子育て広場おひさま』事務局長となりました。

思えば、目の前の子どもの姿に右往左往しながらの子育てでしたが、たくさんの人との関わりが、私たち親子の世界を広げてくれました。今後は、微力ながら事務局長として、共同子育てを、支えていけたらと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。」

会員募集

みなさんの力でおひさまの活動を支えてください。

年会費 正会員:5000円 賛助会員:1口1000円

会員特典 総会決議権(正会員のみ) おひさま通信配布

イベント割引(例:園開放通常参加費 大人300円▶100円)



5歳児

寄付のお願い

会費・寄付振込口座及び振り込み名義

※平成28年4月より振替口座の番号が変わりました。

郵便振替口座 01620-0-101329

口座名称 特定非営利活動法人共同子育て広場おひさま

発行

〒779-3125

徳島市国府町早瀬字雀ヶ原218-6

Tel 088-642-5933/Fax 088-642-5935

NPO HP <http://npo-ohisama.org/>

NPO法人共同子育て広場おひさま事務局

(木のいえ共同保育園)

絵本から広がるあそびの世界「挑戦する気持ちが湧き出てきた!」

～認め合える仲間関係へ～

ある日、河川敷に散歩に出かけた地球組。劇の場面の終盤とよく似た場所を見つけました。すぐに「とびたい!」という子どもたちですが…。

1



崖から下を見て少し足がすくむ子どもたち。すると一番初めに「みほんみせたげる!」となりきって飛ぶダンブ園長。「やっぱりほんものの だんぶえんちょうみたいやな」と仲間も認めていました。「おれもいつてくるわ」と子どもたちのリーダーのたかしも飛びました。「たかしすごい!」「だって だんぶえんちょうみてたからね」と劇のセリフも聞こえてきました。

2



勇気をもって飛んだ後、下には「ほんものの どうくつみたいなんみつけた!」「きでつくつとん?だれがつくつたんだろう」「かいぞくちゃう?」と想像が膨らんでいました。その前に「たおれるまねしとくわ!くさやけん いたない!」とようへい。劇の中でダンブ園長と海賊ごっこをして倒れるため、草の上で倒れる真似をしてあそんでいました。

3



「みんなでとびたい!」の声から全員で飛ぶことに。「ときどきする…」と大人と手を繋ぐ、かずことみつお。みんなで息を合わせて「せーの」の掛け声で飛びました。

飛び終えた後、「こわいけどたのしかった!」と自信を持った様子でした。

4



全員でした時には少しまだ怖かった様子のみつお。「もういっかいとびたい」と大人の手を引き、一緒にもう一度飛びました。その後「とんでくるな」と一人で向かうみつお。大人の横にいたかずこにも手を伸ばすと首を横に振ります。「ひとりでやってみよう」という気持ちと「こわい」という気持ちで葛藤しています。高いところに足がすくんでなかなか飛べないかずことみつおとみどり。何度も飛びたい気持ちと葛藤し、上から下を見ている。その姿を見た仲間が集まってきて「いっしょとんだーか?」「みほん みせたん!」と声をかける仲間たち。

5

「しんこきゅうして わたしはかいぞくのこっぺいば ちからがでるよ」と劇中にさくらを励ます役のみどり。怖がっているみどりを見て下にいた仲間が同じセリフを言い、勇気を与えています。自分もみどりのようになりたいと深呼吸をして、全員で「みどりはかいぞくのこ!」と言い、飛びました。仲間が喜んでいっているのを見て安心と嬉しさが混ざった様子で、「とべたんうれしい!たのしかった!」仲間にも憧れて「やってみよう!」思いを募らせたみどりでした。



6



楽しく飛べるようになってきたダンブ園長とたかし。本当の絵本の中に出てくるように、楽しいことを発見してあそびこんでいく、みんなを引っ張る素敵な姿でした。

7

10 分ほど格闘し、そろそろ帰る時間が近づいてきて星組月組も集まってきました。飛ぶまで帰りたくない!と2人。仲間も飛びたい気持ちに寄り添い「みつおはかいぞくのこだろ!!」と叫びました。仲間の思いにも答えるかのように深呼吸をして仲間みんな「みつおはかいぞくのこ!!」というとその掛け声に合わせて飛びました。全員大喜び。飛び終えた後は安心して涙が出ましたが、嬉し涙の方が大きいようでした。最後まで格闘しているかずこ。みつおの姿を見て力が湧いてきました。みつおも下から「かずこがんばれ!」と声をかけます。「みんな しんこきゅうして!せーの かずこはかいぞくのこ!」とみどりが言うと、小さい声で「わたしはかいぞくのこ」と言いみんなに見守られながら飛びました。「かずこがとんだ!」と大喜び!!仲間が駆け寄ります。自分で乗り越えることを心と身体に刻み込みこんできたからこそ、様々な事に向かっていけるのです。



8



帰り道、たかしが「かずこ こわかったけどとんだん すごいな。」「かずこ つよくなったな」と劇中のセリフが聞こえました。色々な役を演じ、あそぶことで人の思いや考えに触れ、自分や他者を多面的に認めるようになり、内面も大きく成長していきます。劇と重なる疑似体験からなりたいた自分に向かっていきました。

その後の生活の中では、仲間の苦手を見つけると「いっしょにやろう」と声をかけたり、当番が仕事をしていたら「なんかてつどうな!」と声をかけたりと、遊びでも生活でも、自分たちでつくりあげる楽しさを感じ、自信をもって仲間へと声をかける自治集団へ繋がってきました。心が揺れ動きながらもあそびを通してこんな風になりたいと成長した姿でした。子どもはあそび、遊びの中で体験を重ねて飛躍します。毎日の積み重ねが子どもたちの心も身体も大きく成長させてくれる大切な体験です。